

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	建設課
課 名	建設課

預算	款	項	目	決算書	
	8	2	1	174	頁

目 名
道路橋梁総務費

事務事業名称
道路橋梁総務事業

1. 概要

目的	県道の事業推進	対象	市民		
事業概要	○道路橋梁総務事業				
	県が実施主体で実施した県道改良工事に係る経費（負担金）				
	区分	負担率	事業費	工事費	負担金(工事費×負担率)
	・地方特定事業	3/20	216,000千円	206,280千円	30,942千円
	・地域振興事業	3/20	65,000千円	62,075千円	9,311千円
	・一般改良事業	3/20	128,000千円	122,240千円	18,336千円
	計		409,000千円	390,595千円	58,589千円
	道路期成会負担金 686千円				
	(繰入金) 矢田ダム関連地域振興基金繰入金 2,865千円				
	(起債) 県道改良負担金 52,300千円				
道路台帳作成整備委託料 5,654千円					

臨／経	事 業 名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	道路橋梁総務事業	県道負担金ほか	負担金補助及び交付金	66,660	66,040		52,300	10,076	3,664	3
計				66,660	66,040	0	52,300	10,076	3,664	

2. 指標設定

成果指標	指標名		市内県道改良率の向上		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値		10.7%				総合計画/後期基本計画において、基本施策(3-1-1)の重点施策としているため			
活動指標	指標	a	負担金額		b	市道道路台帳整備		c		
	数値	目標	－		目標	－		目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
市内県道改良率の向上	%	74.6 %	75.1 %	75.5 %
		2.8 %	7.5 %	11.2 %

4. 課題と対応

課題
市内の県道の改良率は平成23年度で75.5%で県下2番目に低い。県平均85.0%を目標にする。
対応（改善点等）
予算の範囲内で今後協議を重ねながら優先順位を決めて対応する

活動指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
a	負担金額 千円	40,140 千円 －	54,693 千円 －	58,589 千円 －
b	市道道路 台帳整備 千円	5,112 千円 －	6,811 千円 －	5,654 千円 －
c				
d				

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

決 算 額（千円）		H21	H22	H23	H24
		52,474	62,883	66,040	81,900
うち経常経費		6,532	8,190	7,450	10,991
財源内訳	国 費	2,962			
	県 費				
	市 債	37,000	47,200	52,300	66,000
	そ の 他	5,122	10,712	10,076	8,524
	一般財源	7,390	4,971	3,664	7,376
うち経常		1,410	1,303	240	3,900
事業費に係る人件費		8,533	8,759	8,600	8,588

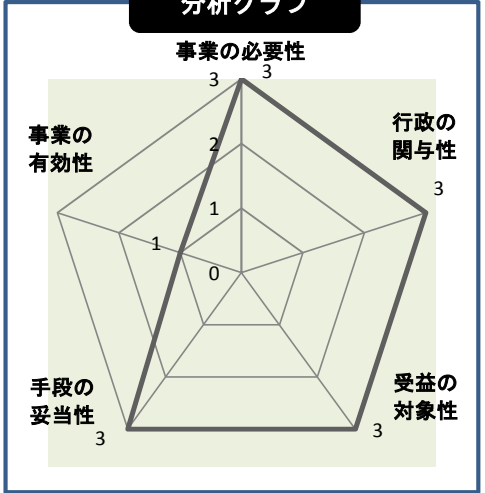
6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市内の観光・産業の広域的な発展に幹線道路の整備が大きく寄与している。

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	県道は広域ネットワークを担っている
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	大分県の施行に伴う負担金の支出
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	大分県が市の要望・必要性・緊急性を考慮し対象を選択している
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	県道の起債事業や単独事業を促進により改良率の向上を図る
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	1	改良率の向上達成に20年を要する

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で引き続き課題の対応に努めること